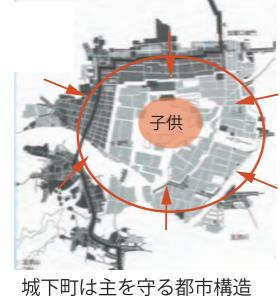


## 城址公園



### 福の井ホール

まちづくり福井（株）の事務所が入っており、城址公園全体のマネジメントを行う。小さなホールが備わっており、近くの保育園や小学校の児童の発表会などで使われる。

### 福の井保育園

まちなかに子どもが遊び場所をつくる。駅の近くで働いているお母さんも保育園に通っている子どもとお昼を食べる事が出来る。

### 福の井食堂

保育園の園児や福の井ハウスの高齢者がお昼を食べにくる。食堂を介して二つの施設がつながる。

### 福の井ハウス（サービス付き高齢者向け住宅）

今後増大する高齢者に対してセーフティネットをまちの中心部、城址に設ける。

在宅でのケアや介護ができなくなった場合、現在日本の社会では裕福でなく身寄りのない高齢者の生活の質を維持するのは難しい。

そういう境遇の高齢者の受け皿を城址というまちなかの場に用意することで、社会とかかわりを持ちながら人間らしく生きることができる。

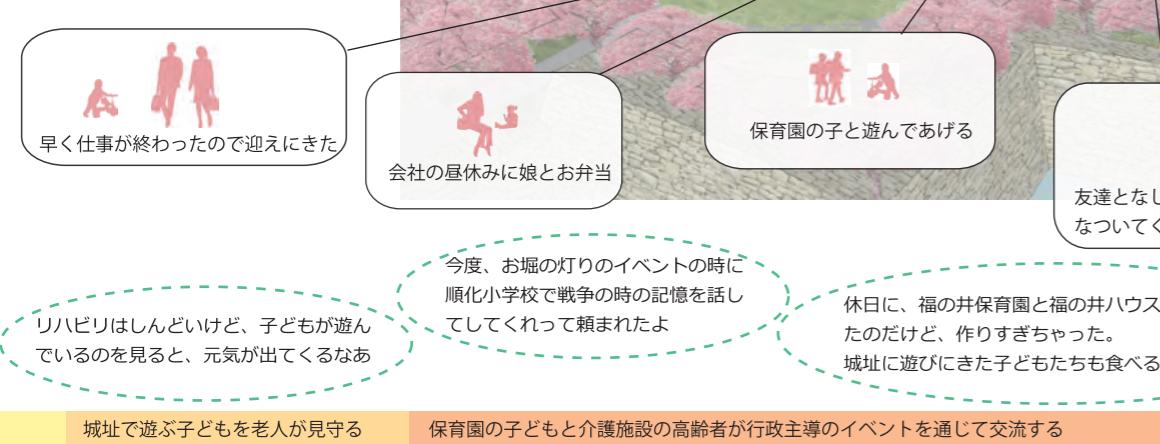
<http://www.minnanokaigo.com/guide/>

### 現代版城下町

城址を福井の未来を担う子供や支援すべき高齢者を守る場と位置づける。歴史的にも価値が高い城址により自然に近いかたちで残し、その空間の意味、質を継承していく。

### 城址で生まれる新しい人間関係

他世代の交流によって、これまでになかった新しい人間関係が生まれる。

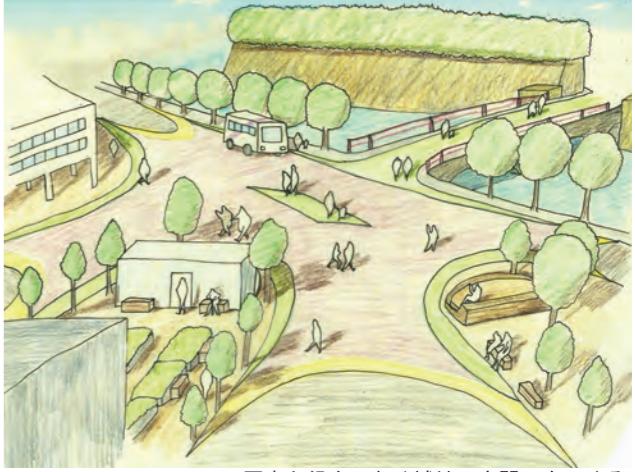


### 城址で遊ぶ子どもを老人が見守る

### 保育園の子どもと介護施設の高齢者が行政主導のイベントを通して交流する

### 子どもと高齢者が積極的に交流するようになる

## 城址を眺めるほっとスポット



### 城址公園の玄関口

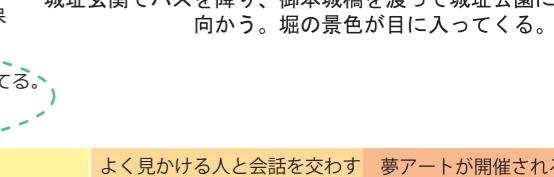
城址公園へとつながる玄関口として、コミュニティバスのバス停や横断歩道を整備し、城址公園へのアクセスを高める。

### 緑、歴史のつなぎり

接続する歴史のみちや緑のシンボル軸と城址公園の結節点とする。都市の中で緑や歴史を感じられる空間をつなげていく。



歴史と緑をつなぐ城址の玄関口をつくる



あつまりから城址への眺めの確保

気付いたら会社の前に広場ができるて、お堀も見えて、気持ちいいなあ。

まちなかで一休みする

よく見かける人と会話を交わす 豊アートが開催される

## 企業局前の企業交流拠点



企業交流の場。情報、人が交わる事で新しい製品、ビジネスが生まれる。

あつまりは商談などにも使われ、産業見本市などのイベントの拠点となる。

### 水辺を楽しむほっとスポット

お堀の灯り（7月）の特等席になる。

お堀の灯りは戦災、震災を忍ぶイベントである。多世代で、生と死を考える場とする。

### 福井ゆめアート（10月）

あつまりの内部空間や外壁を利用したアートでイベントが盛り上がる。

通り沿いにあつまりが見える

足羽山が見える

既存のバス停をいかしたあつまり

緑のシンボル軸

城址の玄関が見える

駅周辺エリア

駅前商業エリア

浜町界隈

片町界隈

城址の玄関が見える

城